

# 日立業務用エコキュート

HITACHI  
Inspire the Next

自然冷媒 (CO<sub>2</sub>) 大容量ヒートポンプ給湯システム



## 取扱説明書

[寒冷地タイプ]

形式

ヒートポンプユニット  
貯湯ユニット

RHK-15AJK  
RHK-T56AK

システム名称

RHK-1501AJKS (貯湯ユニット1台)  
RHK-1502AJKS (貯湯ユニット2台)  
RHK-1503AJKS (貯湯ユニット3台)



必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。塩分・石灰分・硫黄分・その他の不純物を多く含む水質などの特殊な水質には本製品を使用しないでください。  
また、お湯を沸かすための熱源を空気熱源ヒートポンプとしています。外気温度が「-20℃」を下まわる地域ではご使用になれません。  
(故障等が発生する場合があります。)

はじめに/特長	2
安全上のご注意①②③	3~5
●据え付け上の注意事項	
●移設・修理時の注意事項	
●使用上の注意事項	
使用上のお願いとお知らせ	5
各部の名称と働き	6~9
●ヒートポンプユニット/貯湯ユニット/本体周辺	
●リモコン	
貯湯運転の説明	10~11
操作項目一覧	12

### リモコンの使用法

●電源の投入	13
●日付/時刻の合わせかた	14
●沸き上げ温度の設定のしかた	15
●「定量」運転選択の設定のしかた	16
・沸き上げ時間の設定のしかた	17
・沸き増し量の設定のしかた	18
●「業種別」運転選択の設定のしかた	19
・沸き上げ時間の設定のしかた	20
・沸き増しパターンの設定のしかた	21
・全量沸き増し運転の設定のしかた	22
●「学習」運転選択の設定のしかた	23
・沸き上げ時間の設定のしかた	24
・全量沸き増し設定のしかた	25
●ピークカットの設定のしかた	26~27
●日数休止のしかた	28~29
●曜日休止のしかた	30~31
●期間休止のしかた	32~34
●実績表示/詳細設定のしかた	35
●ボタン・アラーム音量の設定のしかた	36
●画面コントラストの設定のしかた	36
●給湯量の表示(現在)	37
●給湯量の表示(1日)	37

凍結防止	38
メンテナンス時又は長期間運転を停止するとき	39~40
電源ブレーカーを入れたときと停電後	40
各部の点検とお手入れ	41~42

故障かな?	43~44
保証とアフターサービス	45
定期点検	45~46
お客様ご相談窓口	46
仕様	47

ご使用の前に

リモコンの使用法

上手な使い方

アフターサービス

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。  
お読みになった後は、保証書と共に大切に保存してください。

# はじめに



この給湯機は、業務用を目的とした高温貯湯式ですので、シンク等の出湯口には必ず混合栓をご使用ください。  
また、給湯以外の目的で使用しないでください。

ご使用前に

## 特長 大量のお湯を使うレストラン、食品スーパー、病院、福祉施設におすすめ。

- 自然冷媒（CO<sub>2</sub>）採用のヒートポンプユニットと貯湯ユニットの組み合わせで、施設の使用湯量に応じた給湯が可能です。
- レストラン、給食センター、スーパー、病院、老人ホーム、デイケア施設、社員食堂、ホテル、結婚式場の厨房に最適。スポーツ施設、福祉施設のシャワーなどにも対応できます。

### 特長 1 寒冷地対応で省エネ性向上

- 外気温-20°まで使用可能なので、寒冷地でも高効率給湯が可能。
- 高い省エネ性、定格（中間期）COP4.3を実現。光熱費も大きくセーブ。

### 特長 2 CO<sub>2</sub>排出も削減

- 自然冷媒を使用したヒートポンプで、効率よくお湯を沸かす日立の業務用エコキュートならCO<sub>2</sub>排出を大幅に削減します。

### 特長 3 最大8システムまで1台のリモコンで制御

- 8システム（1日あたり60℃換算で約30トン）を1台のリモコンで制御します。

### 特長 4 8システムまでの残湯量と偏流を自動制御（偏流対応制御）

- 別売の給湯流量調整弁セットまたは給湯停止弁を設置することによって、最大8システムまでの残湯量の偏りを抑制するための偏流自動調整を行います。

## ■ 業務用エコキュートのシステム組み合わせ

	貯湯ユニット1台	貯湯ユニット2台	貯湯ユニット3台
ヒートポンプユニット 1台	 <p>加熱能力 15kW 貯湯量 560L</p>	 <p>加熱能力 15kW 貯湯量 1,120L</p>	<p>基本システム構成</p>  <p>加熱能力 15kW 貯湯量 1,680L</p>

- 1つのリモコンで上記のヒートポンプユニット8システムまで接続・操作できます。

# 安全上のご注意①

必ずお守りください。

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、必ず守ってください。
- 警告と注意の意味は次の通りです。

●本文中「図記号」の意味は次の通りです。

 <b>警告</b>	「死亡または重傷などを負うことが想定される」内容です。
 <b>注意</b>	「傷害を負うことか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

	必ず実行していただく「強制」内容です。
	必ずアース線を接続してください。
	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	触れないでください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保存してください。

「」使用の前に

 <b>警告</b>	
 改造禁止	●修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
 アース線接続	●アース工事がされているか確認する 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。 ・アースの取り付けは販売店にご相談ください。
 禁止	●ヒートポンプユニット、貯湯ユニットの近くにガス類容器や引火物を置かない 発火することがあります。  ●湿気が多い場所に据え付けない ●雨や雪が降った時に、水たまりができて水につかるようなところに据え付けない 浴室など湿気が多い場所に据え付けると、感電や火災などの原因になります。
 <b>注意</b>	
<b>据え付け上の注意事項</b>   強制	●ヒートポンプユニット、貯湯ユニットの脚がアンカーボルトで固定してあるか確認する 本体が倒れてけがをすることがあります。 ・固定していない場合は販売店にご相談ください。
	●ヒートポンプユニット、貯湯ユニットを設置する床面が防水処理・排水処理されているか確認する 水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。 ・販売店にご相談ください。
	●電源は、三相200Vを使用する 三相200V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、 発火の原因になります。
	●次の場所には設置しない（本体） 海岸地区など塩分が多い所や、硫化ガスの発生する所に設置すると、事故・故障の原因になります。 （ヒートポンプユニットは屋外設置用の機器ですので屋内に設置しないでください。） 運転音が隣家の迷惑になる所に設置すると、クレームの原因になります。
	●次の場所には設置しない（リモコン） 屋外、水のかかる場所や上記のかかるような高湿の場所、直射日光のあたる場所や高温になる場所 周囲温度が-10℃を下回る場所に設置すると故障・破損の原因になります。



移設・修理時の注意事項

## 警告



強制

- 異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止してヒートポンプユニットの電源スイッチを「切（OFF）」にして〔または分電盤のブレーカーを「切（OFF）」にして〕お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談する  
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
- 修理は、お買い上げの販売店または、修理窓口に依頼する  
ご自分で修理をされ不備があると、感電や火災などの原因になります。
- 機器を移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口  
に依頼する  
ご自分で移動・再設置され、不備があると、感電や火災などの原因になります。

## 警告



強制

- 漏電遮断器の作動を確認する  
漏電遮断器が故障したまま使用すると、漏電のときに感電する恐れがあります。  
（漏電遮断器の動作確認方法はP41ページ）

- 給湯温度を確かめる  
やけどの恐れがあります。



接触禁止

- 給湯時は給湯カランに手を触れない  
やけどをすることがあります。



禁止

- 機器の前面カバーは開けない  
感電の恐れがあります。
- ヒートポンプユニットの空気吸入口、空気吹出口に手や棒を入れない  
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。

## 注意



禁止

- ヒートポンプユニット・貯湯ユニットに乗ったり、ものを載せたりしない  
落下や転倒などにより、けがの原因になります。
- ヒートポンプユニットの吸入口や底面、アルミフィンにさわらない  
けがの原因になります。
- 動植物にヒートポンプユニットの空気吹出口から出る風を直接当てない  
動植物に悪影響を及ぼす原因になります。
- ヒートポンプユニットの空気吸入口や空気吹出口をふさがない  
能力低下や故障の原因になります。
- 長期間の使用で、傷んだままの据付台などで使用しない。  
機器の転倒・落下につながり、けがなどの原因になります。



強制

- 給湯機から出る湯水をそのまま飲用しない  
長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって  
水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカ  
ンなどで沸騰させてからにしてください。  
・固形物や変色した水・濁り・異臭があった場合には、直ちに点検の依頼を行って  
ください。

# 安全上のご注意③

必ずお守りください。

## 使用上の注意事項



強制

- ヒートポンプユニット、貯湯ユニット前面の操作カバーは閉じておく  
ショート・感電の恐れがあります。
- 貯湯ユニット、ヒートポンプユニットを満水にしてから電源を入れる  
お湯が正常に出ません。  
・給湯システムの運転開始時の準備は、販売店にご依頼ください。
- 給湯機を1ヵ月以上使用しない時は、電源スイッチを「切(OFF)」にして、  
ヒートポンプユニットと貯湯ユニットの水を抜く  
水質が変化することがあります。(水抜き方法は☞A39ページ)
- 外気温度が0℃を下回る恐れのある場合は、凍結防止ヒーターを使い凍結防止対策を  
必ず行う(☞A38ページ)  
配管が凍結破裂した場合、そのまま使うと熱湯でやけどをすることがあります。  
・保温工事は販売店にご依頼ください。
- 最初にお使いになる時に、貯湯ユニットのタンク内に水が入っている場合は、  
タンク内の水を一度排出する  
タンクや配管内の水質が変化していることがあるので、タンクの排水、給水を行い  
水を入れ替えてください。  
(タンク排水・タンク給水の方法は☞A39、40ページ)
- ヒートポンプユニットのドレン水が凍結し、ドレン穴を塞いでいないか確認する  
ドレン穴が塞がった場合、そのまま使うと、機器を破損し、運転できなくなります。  
塞いでいる場合は、販売店にご相談ください。
- ヒートポンプユニットのドレン水で機器の周囲が凍結していないか確認する  
機器周辺の地面などが凍結した場合、転倒などによりけがの原因になります。  
凍結している場合は、凍結した氷を除去してください。

## 使用の前に

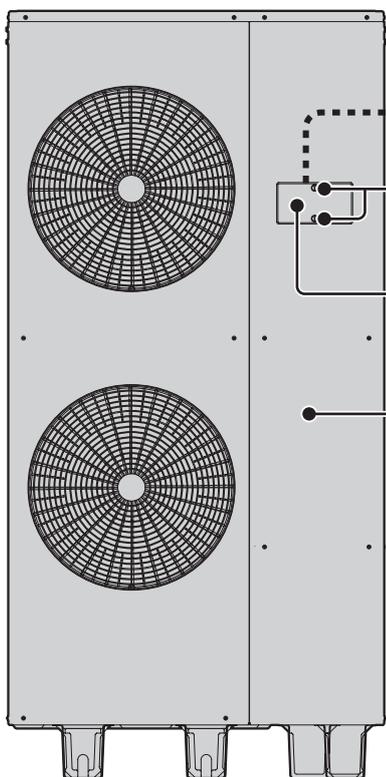
# 使用上のお願いとお知らせ

- 給水圧力は、200kPa (2kgf/cm<sup>2</sup>) 以上あること。  
給水圧力が指定圧力以下の場合、水やお湯の出る量が少なくなったり、配管内に気泡が溜まりお知らせ表示等の発生原因になる場合があります。  
その場合は、販売店または工事店にご相談ください。
- お湯は上手にお使いください。  
お湯を連続的に多量にお使いになると、外気温度が低い時などお湯の温度が下がることがあります。
- リモコンの時刻を月に一度、確認してください。  
リモコンの現在時刻がずれた場合は、リモコンで現在時刻を合わせ直してください。  
(現在時刻の合わせ方は☞A14ページ)
- 給湯開始時は、しばらくの間は水が出る場合がありますが、これは機器から出湯口までの配管中に残っていた水が出るためですので、そのまま給湯を続けてください。
- リモコンには水をかけないでください。また、屋外または、直射日光が当たる場所や高温になる場所、表面に結露が発生する場所には設置しないでください。  
故障の原因になります。
- タンクに貯湯されている温度は、配管やタンクの放熱などにより沸き上げた温度(リモコン設定温度)よりも低下します。  
従って、給湯温度は沸き上げた温度(リモコン設定温度)より低い温度となります。  
また、前日の残湯量が多い場合は、沸き上げ運転が開始しない場合があります。
- 冬期で外気温が低い場合、沸き上げ温度が低下する場合があります。
- 偏流対応制御を行うと、給湯流量を制限するため給湯流量が低下する場合があります。
- 偏流対応制御では、制御開始時に貯湯量が著しく不均一になっている場合は対応できない場合があります。  
また、給湯流量が極めて少ない状態での給湯が継続されると制御が働かない場合があります。
- 即湯循環システムで循環時の偏流が大きい場合は、偏流対応制御では対応できない場合があります。

# 各部の名称と働き

## ヒートポンプユニット

ご使用の前に

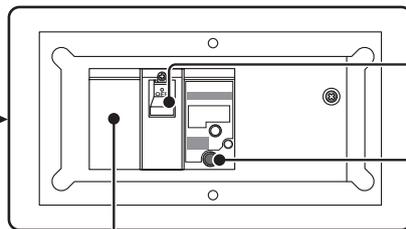


ネジ

操作カバー

前面カバー

### 操作カバー内部



電源スイッチ

テストボタン

月に1回、ボタンを押して漏電遮断器の作動を確認するものです。  
(☞41ページ)

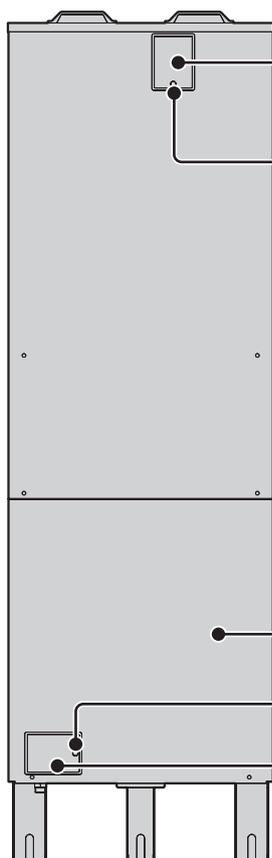
漏電遮断器

万が一、漏電が発生したときに電源を切り、感電を防止します。

### 付属品

- 保証書×1
- 取扱説明書×1 (本書)
- 減圧弁×1 (貯湯ユニット取付用)
- 止水栓×1 (貯湯ユニット取付用)
- 据付説明書×1
- アンカー用型紙×1

## 貯湯ユニット



操作カバー①

ねじ

### 付属品

- アンカー用型紙×1

前面カバー

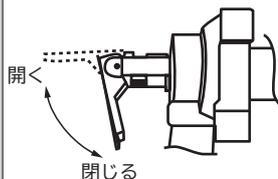
ねじ

操作カバー②

### 操作カバー内部

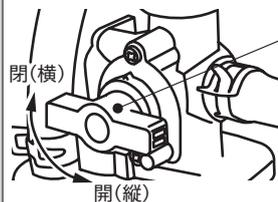
タンク給・排水するときに開きます。

① 逃し弁



●タンク沸き上げ時は、逃し弁からの膨張水をタンク排水管より排出し、タンク内を一定圧力以下にします。

② 排水栓

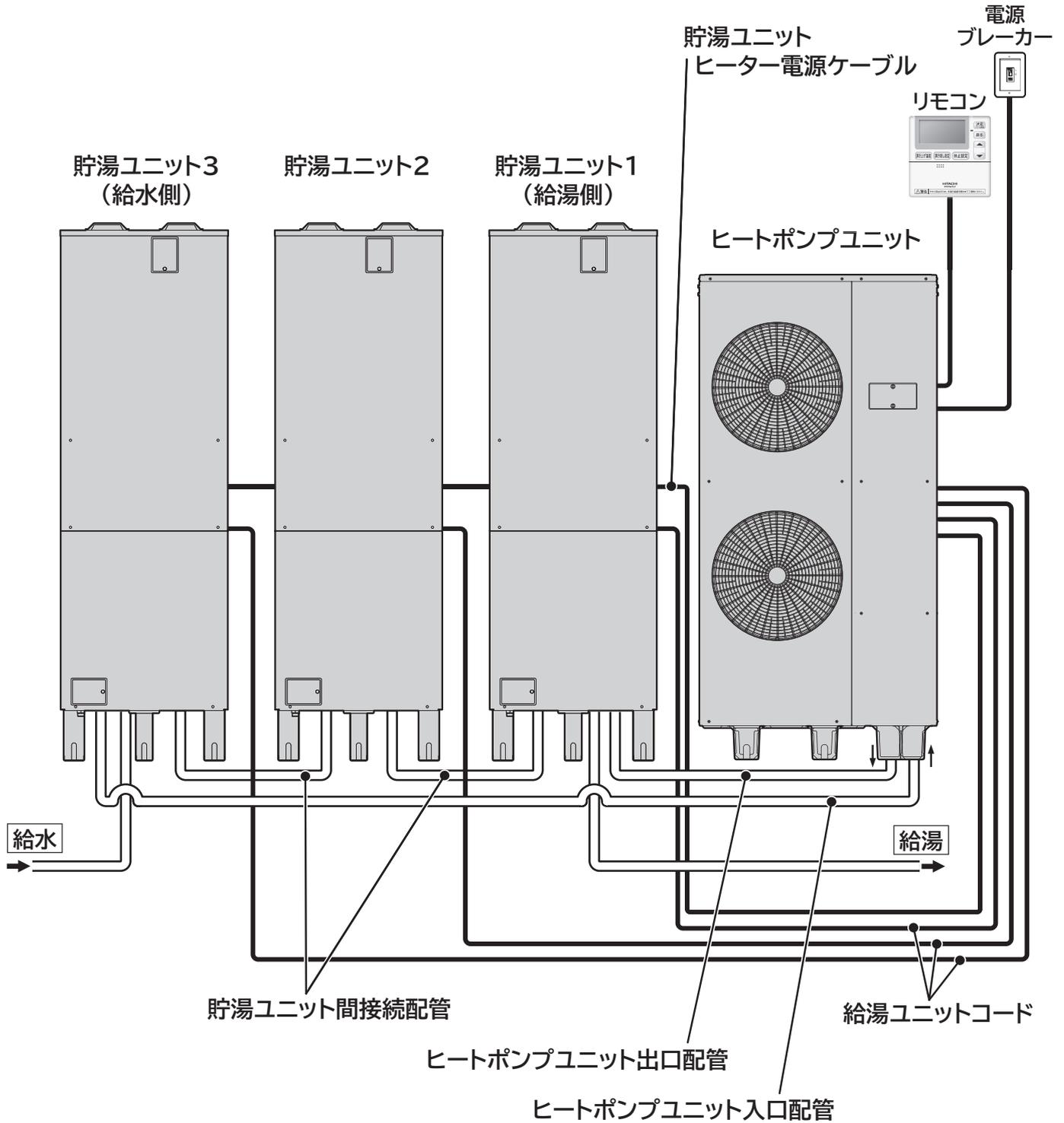


タンクのお湯を排水するときに使用します。

※排水栓を閉じていても、タンク沸き上げ中はタンク排水管より少量の膨張水を排出します。

## 本体周辺

■ 下の図は、貯湯ユニットが3台の場合を記載しています。



# 各部の名称と働き (リモコン)

## リモコン

### 沸き増しボタン

- 定量運転時の沸き増し量を設定します。
- 業種別運転時は全量沸き増し運転の運転/停止を設定します。
- 学習運転時は全量沸き増し設定の設定/解除を設定します。

### 沸き上げ温度設定ボタン

- ヒートポンプユニットの沸き上げ温度を設定します。

### 沸き上げ時間設定ボタン

- 沸き上げ運転を行う時間帯を設定します。

### 運転選択設定ボタン

- 沸き上げ運転方法を設定します。

### 実績表示/詳細設定ボタン

- 3週間前までの残湯量を表示します。
- 業種別運転の場合は過去の残湯量表示の他、沸き増しパターンの設定ができます。

### ピークカット設定ボタン

- ピークカット (運転停止) する時間帯を設定します。

### 休止ボタン

- 給湯機の休止を設定します。  
(日数休止、曜日休止、期間休止)

### 決定 (アラーム音停止) ボタン

- 各種選択/設定を確定します。
- アラーム音を消します。

### 戻るボタン

- ひとつ前の画面に戻ります。

### ▲ ▼ ボタン

- 各種設定や時間/時刻などを選択します。

### 決定ボタン

- 各種設定を確定します。

### 時刻設定ボタン

- 3秒押し後、日付時刻を設定します。

### オプションメニューボタン

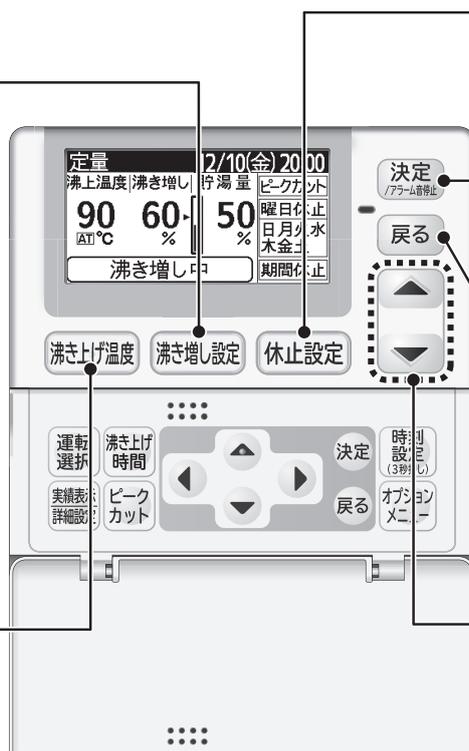
- ボタン音量、画面コントラスト調整等を行います。

### 戻るボタン

- ひとつ前の画面に戻ります。

### ▲ ▼ ボタン

- 各種設定や時間/時刻などを選択します。



# 各部の名称と働き (リモコン)

## リモコン表示部

表示は標準画面です。状況により、表示内容は異なります。

ご使用の前に

### 定量運転時の標準画面

#### 沸き増し量表示

- 沸き増し時間帯 (沸き上げ時間以外) の沸き増し設定量を%と右パングラフの▶で表示します。

#### 沸上温度表示

- ヒートポンプユニットの沸き上げ温度の設定値を表示します。
- [AT] は、外気温度による自動モードを設定時に点灯します。

#### 運転状態表示

- 運転状態を表示します。
  - ・ 沸き上げ時間内での沸き上げ運転時は「沸き上げ中」を表示
  - ・ 沸き上げ時間外での沸き上げ運転時は「沸き増し中」を表示
  - ・ ピークカット時間内は「ピークカット中」を表示



#### 貯湯量表示

- リモコンに接続されている給湯機の総貯湯量を%で表示します。

#### 時刻表示

- 現在の時刻を表示します。

#### ピークカット表示

- ピークカットが設定されている時に表示します。

#### 曜日休止表示

- 曜日休止が設定されている時に設定されている曜日を表示します。

#### 期間休止表示

- 期間休止が設定されている時に表示します。

### 業種別運転時の標準画面

#### 業種表示

- 設定された業種を表示します。



#### 沸き増し量パターン表示

- 設定された沸き増し量パターンを表示します。(現在時刻の沸き増しパターン位置を▲で表示します。)

#### 運転状態表示

- 運転状態を表示します。
  - ・ 沸き上げ時間内での沸き上げ運転時は「沸き上げ中」を表示
  - ・ 沸き上げ時間外での沸き上げ運転時は「沸き増し中」を表示
  - ・ 全量沸き増し運転中は「全量沸き増し中」を表示
  - ・ ピークカット時間内は「ピークカット中」を表示

(上記以外は定量運転と同様となります。)

### 学習運転時の標準画面



#### 学習表示

- 学習結果を反映するまではグレー文字で表示します。
- 全量沸き増し設定時は「学習」が「全量」に変更されます。

(上記以外は定量運転と同様となります。)

### 知っておいていただきたいこと

- 約30秒以上ボタンの操作をしないと自動的にバックライトが消えます。ただし、再度ボタンを押すとバックライトが再点灯します。

# 貯湯運転の説明

■貯湯運転には、主に夜間などお湯を使わない時間帯にタンクを全量沸き上げる沸き上げ運転と、お湯の使用によってお湯が減った時に沸き上げる沸き増し運転に分かれます。

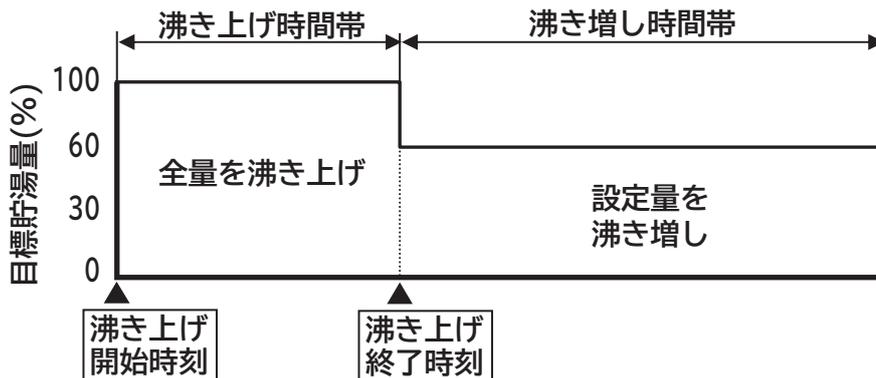
本給湯機では「定量」「業種別」「学習」の3種類から選択できます。

※沸き増し設定の使い方と推奨モード

- ・お店や施設の責任者の方で、湯切れが心配な場合は「定量」運転設定をお奨めします。
- ・施設や設備の使用エネルギーを管理される方で、詳細な設定を望まれる方は、「業種別」運転設定をご使用ください。
- ・学習モードは各曜日の3週間前までのデータを基に沸き上げ運転開始時刻での残湯量を30%に近づけるように制御しますので、曜日毎に使用湯量が大きく異なる場合にお奨めします。  
(突発的に給湯量が増加した日には湯切れを起こす場合があります。)

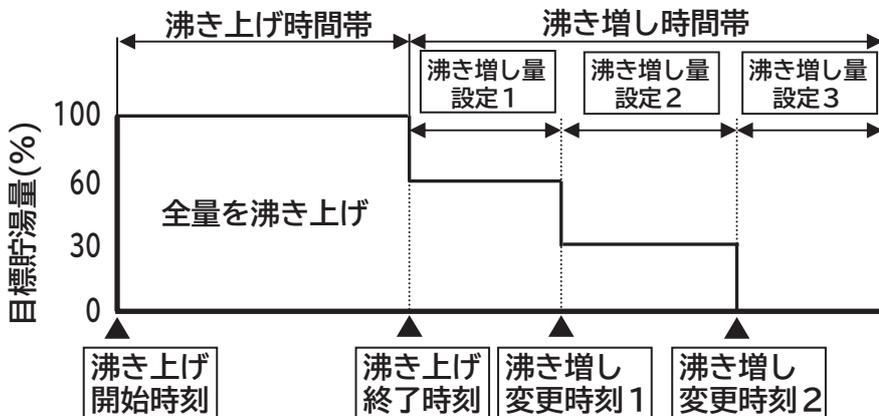
## 「定量」運転とは・・・

- ・沸き増し時間帯に設定した一定の沸き増し量を維持するように運転を行います。



## 「業種別」運転とは・・・

- ・沸き増し時間帯を3分割にし、それぞれの時間帯で沸き増し量を設定できます。
- ・また、沸き増し量の変更時刻を設定することができます。
- ・「定量」運転と同様に、それぞれの設定した沸き増し量を維持するように運転を行います。



- 「業種別」運転では、業種（飲食業・給食センター・福祉/病院・寮/宿泊施設・マニュアル）により代表的な沸き増しパターンが初期値として用意されています。初期値はご使用パターンに合わせて変更してご使用ください。（各業種に合わない場合はマニュアルを選択します。）

業種	貯湯設定	リモコン表示
飲食業		
給食センター		

# 貯湯運転の説明

業種	貯湯設定	リモコン表示
福祉 病院	<p>目標貯湯量</p> <p>時刻</p>	<p>終了設定   設定   設定   設定開始</p> <p>07:00   1   10:00   2   16:00   3   21:00</p> <p>% 0 30 60 100</p>
寮/宿泊 施設	<p>目標貯湯量</p> <p>時刻</p>	<p>終了設定   設定   設定   設定開始</p> <p>13:00   1   17:00   2   20:00   3   03:00</p> <p>% 0 30 60 100</p>
マニュアル	<p>目標貯湯量</p> <p>時刻</p>	<p>終了設定   設定   設定   設定開始</p> <p>08:00   1   15:00   2   21:00   3   22:00</p> <p>% 0 30 60 100</p>

- 上記4種類の業種またはマニュアルを選択後に、「沸き上げ開始時刻」「沸き上げ終了時刻」「沸き増し量変更時刻1」「沸き増し量変更時刻2」「沸き増し量設定1」「沸き増し量設定2」「沸き増し量設定3」を変更することができます。

## 「学習」運転とは・・・

- 過去3週間の沸き上げ開始時刻での残湯量を基に学習を行い、沸き増し量変更時刻を曜日毎に自動調整します。
- 沸き増し量変更時刻で、沸き増し設定量100%を30%に変更して、沸き増し量の調節を行います。
- 「定量」運転と同様に、それぞれの沸き増し設定量を維持するように運転を行います。

## 知っておいていただきたいこと

- 学習運転設定後に、各種設定（沸き上げ開始時刻、終了時刻、沸き上げ温度、ピークカット設定）の変更を行うと湯切れする場合があります。

# 操作項目一覧

■沸き増し運転の選択(「定量」「業種別」「学習」)により、リモコンの操作方法が下記の様になります。

「定量」「業種別」「学習」沸き増し運転共通

操作項目	概要	操作ボタン	頁
時刻の設定	現在の日付と時刻を設定します。		 14ページ
沸き上げ温度の設定	ヒートポンプユニットの沸き上げ温度を設定します。 (90℃~65℃の5℃毎と自動を選択可)		 15ページ
ピークカットの設定	ピークカット時間の設定をします。 (ピークカット時間内は沸き上げ運転を行いません)		 26、27ページ
休止設定	沸き上げ運転を休止する設定をします。 (日数休止、曜日休止、期間休止を選択可)		 28~34ページ
実績の表示	各曜日の過去3週間の残湯量を表示します。		 35ページ
ボタン・アラーム音量の設定	ボタン・アラームの音量を設定します。		 36ページ
画面コントラストの設定	画面コントラストの設定をします。		 36ページ
給湯量の表示 ※	現在又は過去1週間の各曜日毎の給湯量を表示します。		 37ページ

※ 別売の「給湯流量調整弁セット」接続時のみ有効

「定量」沸き増し運転時

設定項目	設定内容	操作ボタン	頁
運転の選択	沸き増し時間帯(沸き上げ時間以外)の運転を選択できます。 (「定量」「業種別」「学習」沸き増しから選択)		 16ページ
沸き上げ時間の設定	沸き上げ運転の時間を設定します。 (沸き上げ時間内は、全量(100%)沸き上げをします)		 17ページ
沸き増し量の変更	貯湯ユニットの沸き増し量を設定します。 (0%、30%、60%、100%を選択可)		 18ページ

「業種別」沸き増し運転時

設定項目	設定内容	操作ボタン	頁
運転の選択	沸き増し時間帯(沸き上げ時間以外)の運転を選択できます。 (「定量」「業種別」「学習」沸き増しから選択)		 19ページ
沸き上げ時間の設定	沸き上げ運転の時間を設定します。 (沸き上げ時間内は、全量(100%)沸き上げをします)		 20ページ
沸き増し量の変更 (各曜日で同じ設定の場合)	貯湯ユニットの沸き増し量を設定します。 ・「沸き上げ開始時刻」「沸き上げ終了時刻」 ・「沸き増し量変更時刻1」「沸き増し量変更時刻2」 ・「沸き増し量設定1」「沸き増し量設定2」「沸き増し量設定3」 を変更することができます。		 21ページ
沸き増し量の変更 (各曜日で違う設定の場合)	貯湯ユニットの沸き増し量を設定します。(各曜日で設定可) ・「沸き増し量変更時刻1」「沸き増し量変更時刻2」 ・「沸き増し量設定1」「沸き増し量設定2」「沸き増し量設定3」 を変更することができます。		 21ページ
全量沸き増し運転の設定	貯湯ユニットの沸き上げる量を一時的に全量(100%)に設定できます。		 22ページ

「学習」沸き増し運転時

設定項目	設定内容	操作ボタン	頁
運転の選択	沸き増し時間帯(沸き上げ運転時間以外)の運転を選択できます。 (「定量」「業種別」「学習」沸き増しから選択)		 23ページ
沸き上げ時間の設定	沸き上げ運転の時間を設定します。 (沸き上げ時間内は、全量(100%)沸き上げをします)		 24ページ
全量沸き増し設定	貯湯ユニットの沸き上げる量を当日のみ全ての時間帯で全量(100%)に設定変更します。		 25ページ

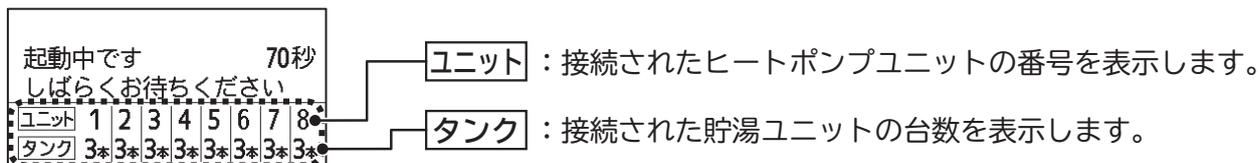
# 電源の投入

■電源を投入する場合は、以下の手順で電源の投入や設定を行ってください。

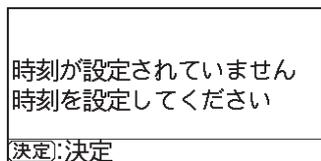
## 1 電源を投入します。(複数台接続している場合は、全ての給湯機の電源を投入してください。)

※複数台での電源投入の順番はありませんが、リモコン接続機の電源を投入しないとリモコンは操作できません。

- リモコン接続機の電源を投入するとリモコン画面(下図画面)点灯後、初期設定を行います。(約90秒)
- 初期設定中に、給湯機の接続確認を行います。(ヒートポンプユニットと貯湯ユニット本数)



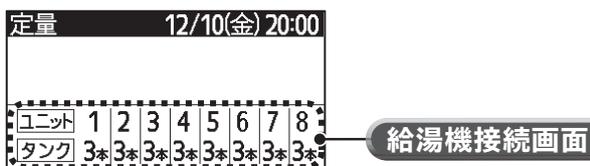
- 初期設定が終わると、標準画面に移行します。但し、初期設定後、時刻が設定されていない場合は、下記画面が表示されると同時にアラーム音が鳴ります。



## 2 決定 (アラーム音停止) を押し、時刻設定を行ってください。(日付/時刻の合わせかたを参照)

※初期設定中に給湯機の接続確認ができなかった場合やメンテナンス等で電源を再投入した場合は下記の方法で接続確認をすることができます。

- 標準画面の時に、オプションメニュー ボタンを3秒長押しします。
- 10秒間、接続確認画面を表示し、標準画面に戻ります。



# ◆ 日付／時刻の合わせかた

- 日付/時刻を必ず合わせてください。
- 標準画面より設定できます。



- 1 リモコンの蓋を開きます。  
時刻設定 (3秒押し) ボタンを3秒長押しします。

- 「日付設定」画面になります。

- 2 ◀▶ で、「年」「月」「日」を選択し、それぞれを変更し 決定 を押します。

- 「時刻設定」画面になります。



- 3 ◀▶ で、「時」「分」を選択し、それぞれを変更し 決定 を押します。

- 「設定完了」の画面表示後に、「標準画面」に戻ります。



## 知っておいていただきたいこと

- リモコン接続をした給湯機の電源投入後は、時刻を必ず合わせてください。時刻を合わせないと正常な運転ができなくなります。
- 時計は一度設定すると、停電等で電源が遮断されても通電再開後は現在時刻に復帰します。(但し、48時間以内)
- 時計は季節(周囲温度)の変化や停電により誤差が発生します。月に1回程度時刻の確認をしてください。

# 沸き上げ温度の設定のしかた

- ヒートポンプユニットで沸き上げる温度の設定です。外気温度によって沸き上げる温度を自動で選択する自動モードと、常に設定した温度で沸き上げる温度固定モードの2通りがあります。
- 温度固定モードでは設定温度を6段階(90℃、85℃、80℃、75℃、70℃、65℃)に変更できます。
- 標準画面で設定できます。



沸き上げ温度設定ボタン

1 **沸き上げ温度** ボタンを押します。

- 画面の「沸上温度」部の温度表示が反転します。



2  で温度を変更します。上下ボタンにより沸上温度が、下記の様に変化します。



- ※自動モード選択時は、温度表示部に **AT** が表示されます。  
(\*\*は、外気温度により変化します。)

3 **決定** ボタンを押します。

## 知っておいていただきたいこと

- 出荷時は、自動モードに設定されています。
- 沸き上げ温度の設定は一度設定すると、再度設定するまで保持されます。  
(電源が遮断されても、設定は消えません)
- 自動モード設定の場合、夏期では沸き上げ温度を低温にして効率のよい運転をし、給湯使用量が多くなる冬期は沸き上げ温度を高温にして使用湯量を確保します。  
食器洗浄機、ゆで麺器などに高温給湯して使用する場合は、温度固定モードでご使用ください。
- タンクに貯湯されている温度は、配管やタンク放熱などにより沸き上げた温度(リモコン設定温度)よりも低下します。

# 「定量」運転選択の設定のしかた

## 運転選択の設定

- 「定量」運転の設定方法。
- 標準画面で設定できます。



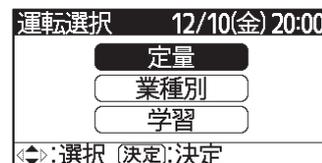
1 リモコンの蓋を開きます。

 ボタンを押します。

- 「運転選択」画面になります。

 で、「定量」を選択し、 を押します。

- 確認画面になります。



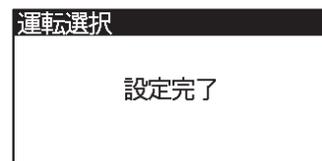
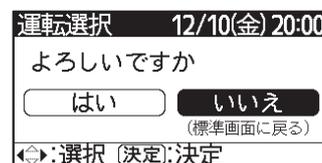
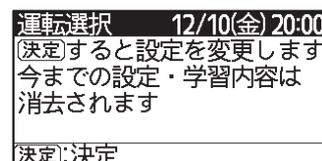
2 「確認画面」で確認後、 を押します。

- 再度確認画面になります。

「確認画面」で、「はい」で  を押します。

中止する場合は、「いいえ」で  を押します。

- 「設定完了」の画面表示後に、定量運転の標準画面になります。



# 「定量」運転選択の設定のしかた

## 沸き上げ時間の設定

- 沸き上げ時間とは、お湯を使わない時間帯にタンクを全量貯湯する沸き上げ運転を行う時間です。(1時間単位で設定)
- 「定量」運転標準画面で設定できます。



沸き上げ時間設定ボタン

1 リモコンの蓋を開きます。

 ボタンを押します。

- 画面が沸き上げ時間の開始時刻入力画面に変わります。

2  で、「開始時刻」を変更し、 を押します。

- 画面が沸き上げ時間の終了時刻入力画面に変わります。



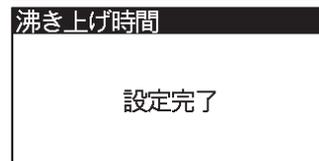
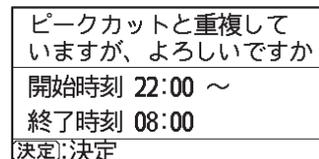
3  で、「終了時刻」を変更し、 を押します。

- 設定確認画面に変わります。
- ※ピークカット時間と重複している場合は、注意喚起画面を表示します。



4 設定内容を確認し、 を押します。

- 設定完了画面が表示された後に標準画面に変わります。



### 知っておいていただきたいこと

- 出荷時は、開始時刻22:00、終了時刻08:00に設定されています。
- 設定時間は、開始時刻から最大21時間となります。
- 沸き上げ開始時刻と終了時刻は一度設定すると、再設定するまで給湯機内に保持されます。(電源が遮断されても、設定は消えません)
- 沸き上げ開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定すると、沸き上げ運転は行いません。

# 「定量」運転選択の設定のしかた

## 沸き増し量の設定

- 沸き増し時間帯（貯湯時間帯以外）の沸き増し量（目標貯湯量）を設定します。
- 「定量」運転の標準画面より設定できます。



**1** 沸き増し設定 ボタンを押します。

- 画面の「沸き増し」部の量 (%) が反転します。



**2** 上下ボタンで沸き増し量を変更します。

上下ボタンにより沸き増し量が、下記の様に変化します。



**3** 決定 ボタンで確定します。

### 知っておいていただきたいこと

- 出荷時は、30%に設定されています。
- 沸き増し量の設定は、一度設定すると再設定するまで保持されます。  
(電源が遮断されても、設定は消えません)
- 複数台接続している場合は貯湯量表示が総貯湯量となるため、貯湯量表示が沸き増し設定量より大きい場合でも運転を行う場合があります。  
〔例 2台接続で沸き増し設定：60%時  
貯湯量 1号機：100%，2号機：0%の時は貯湯量は50%の表示となります。  
よって、2号機の貯湯量が60%になるまで2号機の運転を行います。〕
- 沸き増し量を高く設定すると、残り湯により沸き上げ時間帯に貯湯運転を行わない場合があります。  
このような場合は、沸き増し量を下げるかピークカットを使用して不要な運転を行わないようにしてください。

# 「業種別」運転選択の設定のしかた

## 運転選択の設定

- 「業種別」運転の設定方法。
- 標準画面より設定できます。

### 1 リモコンの蓋を開きます。

**運転選択** ボタンを押します。

- 「運転選択」画面になります。

で、「業種別」を選択し、**決定** を押します。

- 「業種選択」画面になります。



### 2 で、「飲食業」「給食」「福祉/病院」「寮」「マニュアル」より

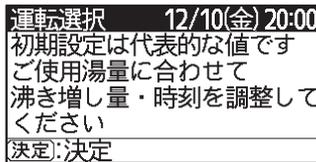
選択し、**決定** を押します。

- 確認画面になります。



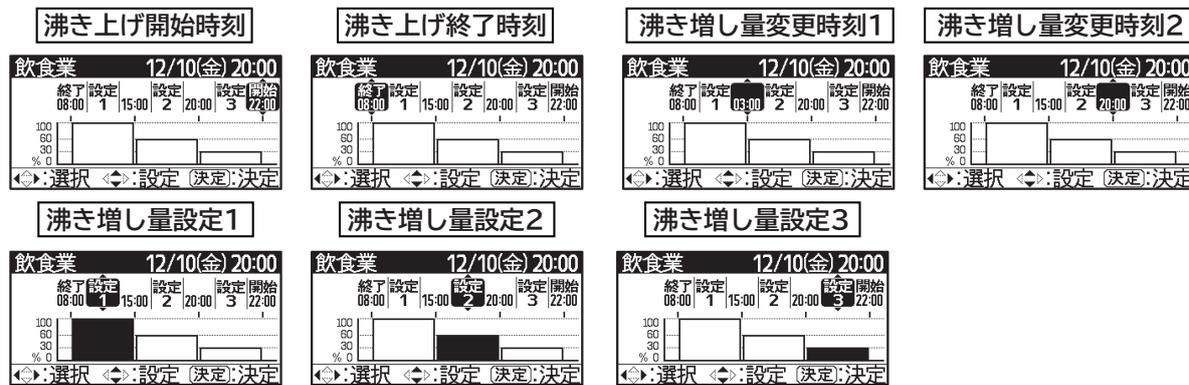
### 3 「確認画面」で確認後、**決定** を押します。

- 「沸き増しパターン」変更画面になります。



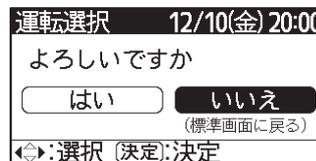
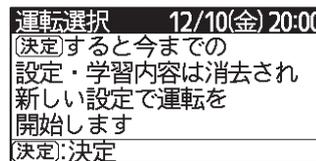
### 4 で、変更部にカーソルを移動して再設定をします。(左右で選択し、上下で設定値を変更)

- 「沸き上げ開始時刻」「沸き上げ終了時刻」「沸き増し量変更時刻1」「沸き増し量変更時刻2」「沸き増し量設定1」「沸き増し量設定2」「沸き増し量設定3」を変更することができます。



### 5 「確認画面」で確認後、**決定** を押します。

- 再度確認画面になります。  
「確認画面」で、「はい」で **決定** を押します。
- 「設定完了」の画面表示後に、「業種別の標準画面」になります。  
中止する場合は、「いいえ」で **決定** を押します。  
(業種別の標準画面になります。)



#### 知っておいていただきたいこと

- 「業種別」運転で業種を変更すると、以前の業種の変更内容は消去されます。(初めて選択した場合や、業種を変更した場合は初期パターンが表示されます。…詳細はP10,11参照)

# 「業種別」運転選択の設定のしかた

## 沸き上げ時間の設定

- 沸き上げ時間とは、お湯を使わない時間帯にタンクを全量貯湯する運転時の時間です。(1時間単位で設定)
- 「業種別」運転標準画面より設定できます。



**1** リモコンの蓋を開きます。  
沸き上げ時間 ボタンを押します。

沸き上げ時間設定ボタン

- 設定確認画面に変わります。

**2** よろしければ、決定 を押します。

- 画面が沸き上げ時間の開始時刻入力画面に変わります。



**3** ◀▶ で、「開始時刻」を選択し、決定 を押します。

- 画面が沸き上げ時間の終了時刻入力画面に変わります。



**4** ◀▶ で、「終了時刻」を選択し、決定 を押します。

- 設定確認画面に変わります。
- ※ピークカット時間と重複している場合は、注意喚起画面を表示します。



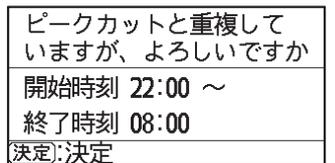
**5** 設定内容がよろしければ 決定 を押します。

- 設定完了画面が表示された後に標準画面に変わります。



### 知っておいていただきたいこと

- 出荷時の、開始時刻、終了時刻は各業種別に設定されています。
- 設定時間は、開始時刻から最大21時間となります。
- 沸き上げ開始時刻と終了時刻は一度設定すると、再設定するまで給湯機内に保持されます。  
(電源が遮断されても、設定は消えません)
- 沸き上げ開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定すると、沸き上げ運転は行いません。



# 「業種別」運転選択の設定のしかた

## 沸き増しパターン詳細設定

### ■全曜日で同じ沸き増しパターンの場合

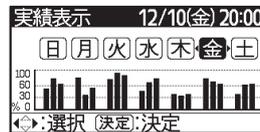
19ページの「運転選択の設定」より、現在と同業種を選択して変更してください。

### ■各曜日で沸き増しパターンを変更したい場合。(沸き上げ時間は曜日毎の変更はできません)

#### 1 リモコンの蓋を開きます。

ボタンを押します。

●実績表示画面に変わります。(3週間分の残湯量実績)



#### 2 各曜日の詳細を確認したい場合は

で、確認したい曜日を選択し **決定** を押します。

●各曜日の2時間毎の残湯量を表示します。

で、「一週前」「二週前」「三週前」に変更し確認します。

※選択した曜日で「詳細設定」を行いたい場合は、**3**に進み、異なる曜日を行いたい場合は、**1**に戻ってください。



#### 3 で、「詳細設定」を選択し **決定** を押します。

●「沸き増しパターン」変更画面になります。



#### 4 で、変更部にカーソルを移動して再設定をします。(左右で選択し、上下で設定値を変更)

「沸き増し量変更時刻1」「沸き増し量変更時刻2」「沸き増し量設定1」「沸き増し量設定2」「沸き増し量設定3」を変更することができます。(まずは「沸き増し量変更時刻2」の前倒しから実施し、翌週の残湯量を確認しながら調整される様お勧めします。)

※「沸き上げ開始時刻」「沸き上げ終了時刻」は、P20の「沸き上げ時間の設定」から行ってください。

沸き増し量変更時刻1



沸き増し量変更時刻2



沸き増し量設定1



沸き増し量設定2



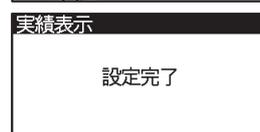
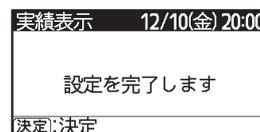
沸き増し量設定3



再設定後 **決定** を押します。

#### 5 「確認画面」で **決定** を押します。

●設定完了画面が表示された後に「実績表示画面」になります。  
※他の曜日を変更したい場合は、**1** から再度行ってください。



# 「業種別」運転選択の設定のしかた

## 全量沸き増し運転の設定

- 「業種別」運転選択時に、「沸き増し設定」ボタンを押すことにより1回のみ全量(100%)沸き増しを行います。
- 「業種別」運転標準画面より設定できます。



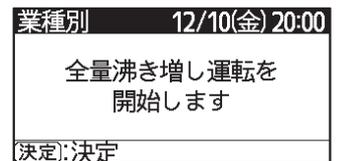
沸き増し設定ボタン

1

沸き増し設定 ボタンを押します。

「確認画面」で 決定 を押します。

- 標準画面の下部に「全量沸き増し中」の文字を表示します。



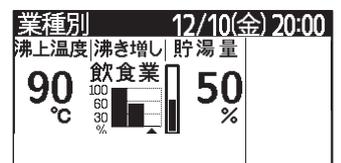
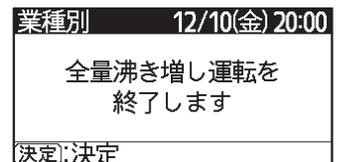
## 全量沸き増し運転の解除方法

2

全量沸き増し中に再度 沸き増し設定 ボタンを押します。

「確認画面」で 決定 を押します。

- 標準画面の下部に「全量沸き増し中」の文字が消えます。



## 知っておいていただきたいこと

- 全量沸き増し運転は、一度全量まで沸き上げると、全量沸き増し運転は解除されます。
- 沸き増し運転方法(「業種別」→「学習」等)を変更した場合や、停電等の電源遮断時は全量沸き増し運転は解除されます。

# 「学習」運転選択の設定のしかた

## 運転選択の設定

- 「学習」運転の選択方法。
- 標準画面より設定できます。

### 1 リモコンの蓋を開きます。

 ボタンを押します。

- 「運転選択」画面になります。

 で、「学習」を選択し、 を押します。

- 確認画面になります。

「確認画面」で確認後、 を押します。

- 再度確認画面になります。



### 2 「確認画面」で確認後、 を押します。

- 再度確認画面になります。

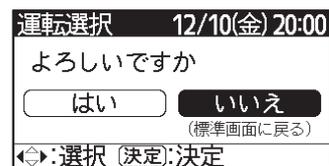
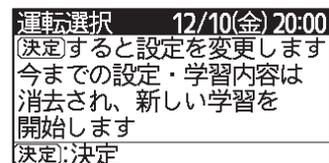
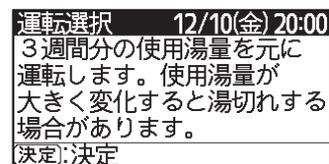
「確認画面」で確認後、 を押します。  
(「業種別」からの切り替え時に表示します。)

- 再度確認画面になります。

「確認画面」で、「はい」で  を押します。

中止する場合は、「いいえ」で  を押します。

- 「設定完了」の画面表示後に、「学習の標準画面」になります。



### 知っておいていただきたいこと

- 「学習」沸き増し運転から「定量」「業種別」運転に変更すると、学習内容は消去されます。
- 1回他の運転を選択してから再度「学習」運転に変更すると、3週間の学習からスタートとなります。
- 3週間の学習中のリモコン画面表示は  (グレー文字) となり、4週目以降は  となります。
- 給湯使用量が急に変わると湯切れの恐れがあります。
- 「学習」運転設定後に、設定変更を行うと湯切れする場合があります。
- 設定を大きく変更する場合は、「学習」を解除(「定量」「業種別」運転に変更)し、再度「学習」運転を設定してください。

# 「学習」運転選択の設定のしかた

## 沸き上げ時間の設定

- 沸き上げ時間とは、お湯を使わない時間帯にタンクを全量貯湯する運転時の時間です。(1時間単位で設定)
- 「学習」運転標準画面より設定できます。



沸き上げ時間設定ボタン

1 リモコンの蓋を開きます。

ボタンを押します。

- 画面が沸き上げ時間の開始時刻入力画面に変わります。

2 で、「開始時刻」を選択し、 を押します。

- 画面が沸き上げ時間の終了時刻入力画面に変わります。



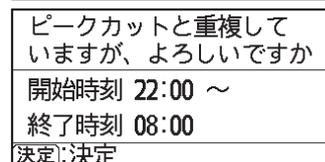
3 で、「終了時刻」を変更し、 を押します。

- 設定確認画面に変わります。
- ※ピークカット時間と重複している場合は、注意喚起画面を表示します。



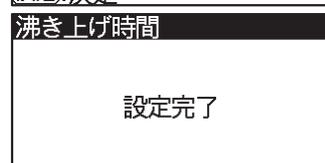
4 設定内容を確認し、 を押します。

- 設定完了画面が表示された後に標準画面に変わります。



### 知っておいていただきたいこと

- 出荷時は、開始時刻22:00、終了時刻08:00に設定されています。
- 設定時間は、開始時刻から最大21時間となります。
- 沸き上げ開始時刻と終了時刻は一度設定すると、再設定するまで給湯機内に保持されます。  
(電源が遮断されても、設定は消えません)
- 沸き上げ開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定すると、沸き上げ運転は行いません。



# 「学習」運転選択の設定のしかた

## 全量沸き増し設定

- 「学習」運転選択時に、「沸き増し設定」ボタンを押すことにより沸き増し量30%の時間帯を全量(100%)に変更することができます。(当日のみ)
- 「学習」運転標準画面より設定できます。

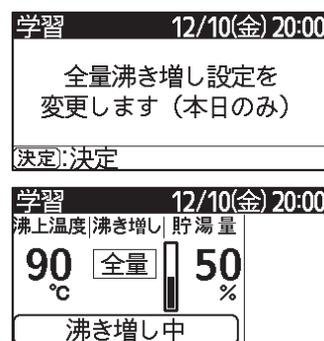


沸き増し設定ボタン

**1** 沸き増し設定 ボタンを押します。

「確認画面」で 決定 /アラーム音停止 を押します。

- 標準画面の中央部の「学習」が「全量」に変わります。



## 全量沸き増し運転の解除方法

**2** 全量沸き増し中に再度 沸き増し設定 ボタンを押します。

「確認画面」で 決定 /アラーム音停止 を押します。

- 標準画面の中央部の「全量」が「学習」に変わります。



## 知っておいていただきたいこと

- 全量沸き増し設定は、当日のみ有効となります。
- 沸き増し運転方法(「学習」→「業種別」等)を変更した場合や、停電等の電源遮断時は全量沸き増し設定は解除されます。

# ◆ ピークカットの設定のしかた

■ ピークカット設定をした時間帯は、給湯機の運転を行いません。

電力使用量がピークとなる時間帯に合わせてピークカット設定しておくことにより、給湯機の運転を停止して ご契約の電力量の超過を防ぐことができます。

■ 1時間単位で設定ができ、最長12時間まで設定できます。

■ 標準画面より設定できます。



## ■ 「ピークカット」の設定方法

**1** リモコンの蓋を開きます。

 ボタンを押します。

● ピークカット設定画面に変わります。

**2**  で、「有り(変更)」を選択し  を押します。

● 画面がピークカットの開始時刻入力画面に変わります。



**3**  で、「開始時刻」を入力し  を押します。

● 画面がピークカットの終了時刻入力画面に変わります。



**4**  で、「終了時刻」を入力し  を押します。

● 設定確認画面に変わります。

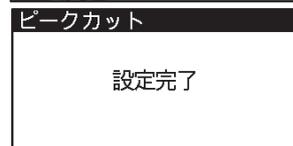
※ 沸き上げ時間と重複している場合は、注意喚起画面を表示します。



**5** 設定内容を確認し、 を押します。

● 設定完了画面が表示された後に標準画面に変わります。

● 標準画面の右側に、「ピークカット」が表示されます。



※ ピークカットと沸き上げ時間が重複すると全量貯湯が行えず翌日の湯切れの恐れがありますので、できるだけさけてください。

# ◆ ピークカットの設定のしかた

## ■ 「ピークカット」の解除方法

1 リモコンの蓋を開きます。

 ボタンを押します。

- ピークカット設定画面に変わります。

2  で、「無し」を選択し  を押します。

- 設定完了画面が表示された後に標準画面に変わります。
- 標準画面の右側に、「ピークカット」が消えます。

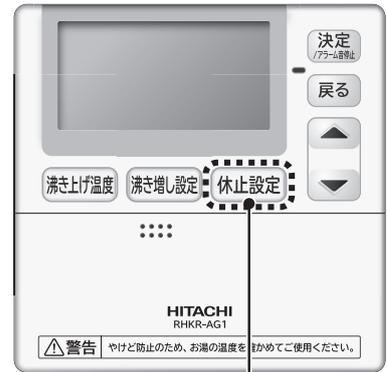


### 知っておいていただきたいこと

- 出荷時は、ピークカット「無し」に設定されています。
- 12時間を超える設定はできません。
- ピークカットは一度設定すると、再度設定するまで給湯機内に保持されます。  
(電源が遮断されても、設定は消えません)

# 給湯機の運転休止のしかた

- 給湯機を使用しない日は給湯機の運転を休止させ、不要な運転を省きます。
- 本機では「日数休止」「曜日休止」「期間休止」の3種類から選択できます。
- 標準画面より設定できます。



休止設定ボタン

## 日数休止

### ■「日数休止」とは。

- 「日数休止」は1～9日の1日単位で設定できます。
- 「日数休止」は設定が確定後直ちに休止となります。
- 「日数休止」の考え方は下記の様になります。

沸き上げ運転を行わない回数を設定します。(運転開始までの、沸き増し運転も行いません)

(例)

- 現在が金曜日(時刻が20:00)で、土曜日、日曜日が休日で月曜日の朝からお湯を使いたい場合。  
(貯湯時間設定・・・22:00～08:00)
- 休止日数は2日を設定します。
- 金曜日と土曜日の沸き上げ運転を休止して、日曜日の沸き上げ運転から運転を開始します。  
(休止設定が確定した直後から、日曜日の沸き上げ運転開始までの、給湯機の貯湯運転は行いません)

### ■「日数休止」の設定方法

1

「休止設定」ボタンを押します。

- 休止設定画面に変わります。

2

「日数」を選択し「決定」ボタンを押します。

- 日数選択部にカーソルが移動します。



3

「日数」を決め「決定」ボタンを押して確定します。

- 設定完了画面になり、休止中画面に変わります。



# 給湯機の運転休止のしかた

## ■「日数休止」の設定変更方法

**1** 休止中画面表示時に **休止設定** ボタンを押します。

- 休止解除・設定変更画面に変わります。

**2** リモコンの蓋を開きます。

◀▶により「設定変更」を選択し **決定** ボタンを押します。

- 設定変更画面に変わります。

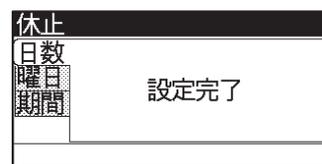
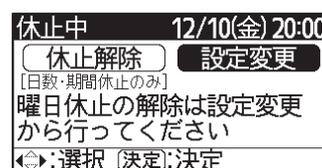
**3** ◀▶によりタブの「日数」を選択し **決定** ボタンを押します。

- 日数選択部にカーソルが移動します。

**4** ◀▶により休止したい日数を決め **決定** ボタンを押して確定します。

- 設定完了画面になり、休止中画面に変わります。

※日数を0日に設定すると日数休止を解除します。



## ■「日数休止」の解除方法

**1** 休止中画面表示時に **休止設定** ボタンを押します。

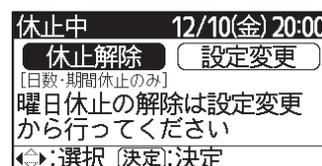
- 休止解除・設定変更画面に変わります。

**2** リモコンの蓋を開きます。

◀▶により「休止解除」を選択し **決定** ボタンを押します。

- 解除完了画面になり、標準画面に変わります。

※休止解除を行うと「期間休止」が設定されている場合は、「期間休止」も同時に解除されます。  
「日数休止」のみ解除したい場合は、設定変更より行ってください。



### 知っておいていただきたいこと

- 休止中は、沸き上げ運転を行いません。(凍結防止運転除く)
- 停電等で電源が遮断された場合は、休止状態は解除されます。
- リモコンの通信異常があった場合は、休止状態は解除されます。
- 複数台接続時に、機器間の通信異常が発生した場合は、通信異常のユニットは休止が解除され運転を行います。但し、通信異常が解除された場合は自動復帰し、休止中の場合は休止設定となります。

# 給湯機の運転休止のしかた

## 曜日休止

### ■「曜日休止」とは。

- 「曜日休止」は休止設定した曜日に給湯機を毎週休止させることができます。(最大6曜日設定可)
- 「曜日休止」の考え方は下記のようになります。  
 (例) 1 営業時間：10：00～20：00で月曜日が定休日の場合（沸き上げ時間設定・・・22：00～08：00）  
 ●休止設定が月曜日の場合



- (例) 2 営業時間：17：00～05：00で月曜日が定休日の場合（沸き上げ時間設定・・・05：00～15：00）  
 ●休止設定が月曜日の場合



- (例) 3 営業時間：22：00～08：00で月曜日が定休日の場合（沸き上げ時間設定・・・10：00～20：00）  
 ●休止設定が月曜日の場合 ※沸き上げ終了時刻が0：00も含む



### ■「曜日休止」の設定方法

**1** 休止設定 ボタンを押します。

- 休止設定画面に変わります。



**2** によりタブの「曜日」を選択し 決定 ボタンを押します。

- 曜日選択部にカーソルが移動します。



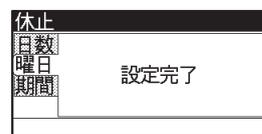
**3** リモコンの蓋を開きます。

により休止したい曜日で「休」に変更します。  
 (運：運転、休：休止を示します。)



**4** 設定終了後、決定 ボタンを押し確認します。

- 設定完了画面になり、標準画面に変わります。
- 標準画面の右側に、「曜日休止」と設定した曜日が表示されます。



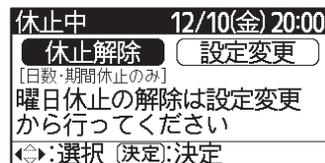
# 給湯機の運転休止のしかた

## ■「曜日休止」の設定変更・解除方法

● 休止中の場合

**1** 休止中画面表示時に **休止設定** ボタンを押します。

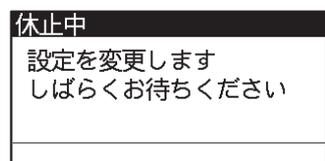
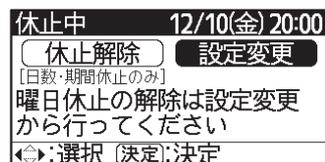
● 休止解除・設定変更画面に変わります。



**2** リモコンの蓋を開きます。

◀▶により「設定変更」を選択し **決定** ボタンを押します。

● 休止設定画面に変わります。

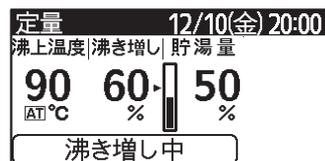
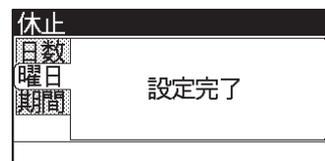


**3** ◀▶により休止を解除したい曜日で「運」に変更します。  
(運：運転、休：休止を示します。)



**4** 設定終了後、**決定** ボタンを押し確認します。

- 設定完了画面になり、標準画面に変わります。
- 標準画面の右側に、解除した曜日が消えます。  
(全ての曜日を解除した場合は「曜日休止」も消えます。)



● 休止中ではない場合

**1** ☞ 30ページ「曜日休止」の設定方法より休止解除をしたい曜日を「休」→「運」に変更してください。

### 知っておいていただきたいこと

- 休止に入ると、休止中画面に切り替わります。
- 「曜日休止」の設定した曜日が現在の曜日と同じ場合は、設定完了後直ちに運転を停止し、休止に入ります。
- 「曜日休止」の設定は一度設定すると、再度設定するまで保持されます。  
(電源が遮断されても、設定は消えません)
- 「曜日休止」は、休止解除からは解除をすることはできません。休止を解除する場合は設定変更を行ってください。
- 複数台接続時に、機器間の通信異常が発生した場合は、通信異常のユニットは休止が解除され運転を行います。但し、通信異常が解除された場合は自動復帰し、休止中の場合は休止設定となります。

# 給湯機の運転休止のしかた

## 期間休止

### ■「期間休止」とは。

- 「期間休止」は休止する期間を指定した開始日，終了日を年月日で設定することができます。(最大30日間設定可)
- 「期間休止」の考え方は下記の様になります。

(例) 1 期間休止設定：2010/12/28～2011/01/07設定の場合(沸き上げ時間設定…22：00～08：00)



(例) 2 期間休止設定：2010/12/28～2011/01/07設定の場合(沸き上げ時間設定…05：00～15：00)



(例) 3 期間休止設定：2010/12/28～2011/01/07設定の場合(沸き上げ時間設定…10：00～20：00)



### ■「期間休止」の設定方法

**1** 休止設定 ボタンを押します。

- 休止設定画面に変わります。



**2** によりタブの「期間」を選択し 決定 ボタンを押します。

- 期間選択部にカーソルが移動します。



**3** リモコンの蓋を開きます。

により休止したい開始日を設定し 決定 ボタンを押します。

- カーソルが終了日に移動します。

により終了日を設定します。



**4** 設定終了後、決定 ボタンを押します。

- 設定にカーソルが移動します。
- 決定 ボタンを押して確定します。
- 設定完了画面になり、標準画面に変わります。
- 標準画面の右側に、「期間休止」が表示されます。



# 給湯機の運転休止のしかた

## ■「期間休止」の設定変更方法

● 休止中の場合

- 1 休止中画面表示時に **休止設定** ボタンを押します。
  - 休止解除・設定変更画面に変わります。

---

- 2 リモコンの蓋を開きます。
  - ◀▶により「設定変更」を選択し **決定** ボタンを押します。
    - 休止設定画面に変わります。

---

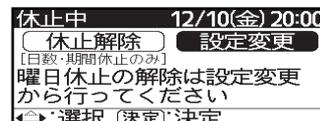
- 3 ▶◀によりタブの「期間」を選択し **決定** ボタンを押します。
  - 期間選択部にカーソルが移動します。

---

- 4 ▶◀により変更したい開始日を設定し **決定** ボタンを押します。
  - カーソルが終了日に移動します。
- ▶◀により変更したい終了日を設定し **決定** ボタンを押します。
  - 設定変更部にカーソルが移動します。

---

- 5 設定内容を確認し、**決定** ボタンを押します。
  - 設定完了画面になり、休止中画面に変わります。  
(休止期間ではない場合は、標準画面に変わります。)



● 休止中ではない場合

- 1 **休止設定** ボタンを押します。
  - 休止解除・設定変更画面に変わります。

---

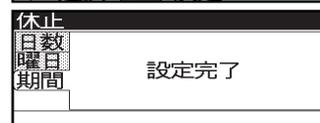
- 2 リモコンの蓋を開きます。
  - ▶◀によりタブの「期間」を選択し **決定** ボタンを押します。
    - 期間選択部にカーソルが移動します。

---

- 3 ▶◀により変更したい開始日を設定し **決定** ボタンを押します。
  - カーソルが終了日に移動します。
- ▶◀により変更したい終了日を設定し **決定** ボタンを押します。
  - 設定変更部にカーソルが移動します。

---

- 4 設定内容を確認し、**決定** ボタンを押します。
  - 設定完了画面になり、標準画面に変わります。



# 給湯機の運転休止のしかた

## ■「期間休止」の解除方法

- 休止中の場合

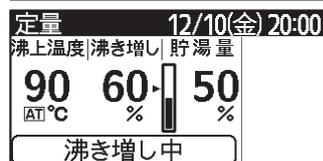
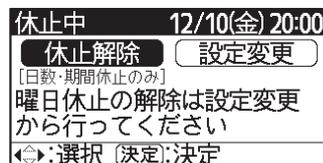
**1** 休止中画面表示時に **休止設定** ボタンを押します。

- 休止設定・設定変更画面に変わります。

**2** リモコンの蓋を開きます。

◀▶により「**休止解除**」を選択し **決定** ボタンを押します。

- 解除完了画面になり、標準画面に変わります。
- 標準画面の右側に、「期間休止」が消えます。



- 休止中ではない場合

**1** **休止設定** ボタンを押します。

- 休止設定画面に変わります。

**2** ▲▼によりタブの「**期間**」を選択し **決定** ボタンを押します。

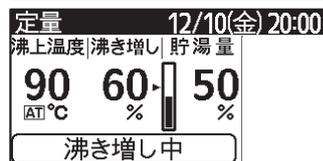
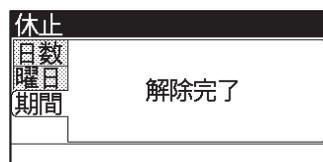
- 期間選択部にカーソルが移動します。



**3** リモコンの蓋を開きます。

◀▶により「**解除**」を選択し **決定** ボタンを押します。

- 解除完了画面になり、標準画面に変わります。
- 標準画面の右側に、「期間休止」が消えます。



### 知っておいていただきたいこと

- 休止に入ると、休止中画面に切り替わります。
- 休止開始日は、当日以降、終了日は、開始日の翌日以降の設定ができます。
- 「期間休止」の設定した期間に現在日が含まれる場合は、設定完了後直ちに運転を停止し、休止に入ります。
- 「曜日休止」の設定は一度設定すると、再度設定するまで保持されます。  
(電源が遮断されても、設定は消えません)
- 「期間休止」解除時に、「日数休止」中である場合は、「日数休止」も同時に解除されます。
- 複数台接続時に、機器間の通信異常が発生した場合は、通信異常のユニットは休止が解除され運転を行います。但し、通信異常が解除された場合は自動復帰し、休止中の場合は休止設定となります。

# 実績表示 / 詳細設定のしかた

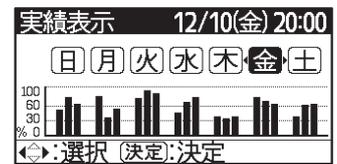
- 各曜日の過去3週間の残湯量（貯湯開始時刻時）を確認することができます。  
さらに、1日（00：00～24：00）の2時間毎の残湯量の表示が可能です。（過去3週間）
- 「業種別」沸き増し設定時は、実績表示より各曜日の沸き増しパターンを変更することができます。
- 標準画面より確認できます。



実績表示 / 詳細設定ボタン

## ■「実績表示」の確認方法

- 1 リモコンの蓋を開きます。  
 ボタンを押します。  
  - 実績表示画面に変わります。



- 2 各曜日の詳細を見たい場合は  
  で、確認したい曜日を選択し  を押します。  
  - 各曜日の詳細画面を表示します。



-   で、「一週前」「二週前」「三週前」に変更し確認します。



# ◆ オプションメニューの設定のしかた

■「オプションメニュー」により下記の設定/確認をすることができます。

- 「ボタン・アラーム音量設定」
- 「画面コントラスト設定」
- 「初期流量確認」
- 給湯量(現在)
- 給湯量(1日)

※初期流量確認と給湯量(現在/1日)は、別売の「給湯流量調整弁セット」設置時のみ有効です。

※初期流量確認は、設置時に設定する機能です。使い方は同梱の据付説明書を参照してください。なお、通常時は使用しないので、誤って選択した場合は **戻る** ボタンで前の画面に戻ってください。



オプションメニュー設定ボタン

## ボタン・アラーム音量設定

**1** リモコンの蓋を開きます。

 ボタンを押します。

- オプションメニュー画面に変わります。

**2**  で、「ボタン・アラーム音量設定」を選択し **決定** を押します。

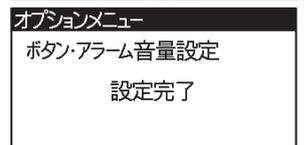
- ボタン音設定画面を表示します。



**3**  で、お好みの音量に選択し **決定** を押します。

(音量は、3段階と消音を選択できます。)

- 設定完了画面が表示された後にオプションメニュー画面に変わります。



## 画面コントラスト設定

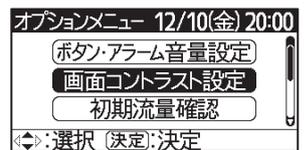
**1** リモコンの蓋を開きます。

 ボタンを押します。

- オプションメニュー画面に変わります。

**2**  で、「画面コントラスト設定」を選択し **決定** を押します。

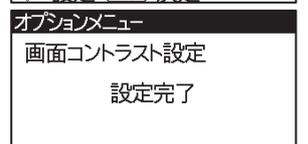
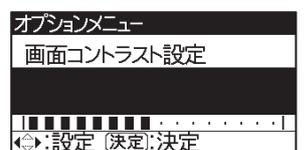
- 画面コントラスト設定画面を表示します。



**3**  で、お好みの濃さに選択し **決定** を押します。

(コントラストは、16段階で選択できます。)

- 設定完了画面が表示された後にオプションメニュー画面に変わります。



# ◆ オプションメニューの設定のしかた

■「給湯量(現在)」「給湯量(1日)」は、別売部品の「給湯流量調整弁セット」を設置時のみ有効となります。

## 給湯量(現在)

1 リモコンの蓋を開きます。

 ボタンを押します。

●オプションメニュー画面に変わります。

2  で、「給湯量(現在)」を選択し  を押します。

●給湯量表示画面を表示します。



3 確認後  を押します。



## 給湯量(1日)

1 リモコンの蓋を開きます。

 ボタンを押します。

●オプションメニュー画面に変わります。

2  で、「給湯量(1日)」を選択し  を押します。

●給湯量表示画面を表示します。



3 確認後  を押します。



### 知っておいていただきたいこと

- ボタン・アラーム音量を消音に設定すると、お知らせ表示や、湯切れ時のアラーム音が鳴りません。
- 給湯量(1日)は、0時00分から23時59分までに利用した量の値となります。
- ボタン・アラーム音量、画面コントラストは一度設定すると、再設定するまで給湯機内に保持されます。(電源が遮断されても、設定は消えません。)



# メンテナンス時又は長期間運転を停止するとき

- メンテナンス時又は1ヵ月以上、給湯機を使用しないときは電源スイッチを「切 (OFF)」にし、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの水を抜いてください。
- 水抜きは設置した業者あるいは販売店にご依頼ください。

## お願い

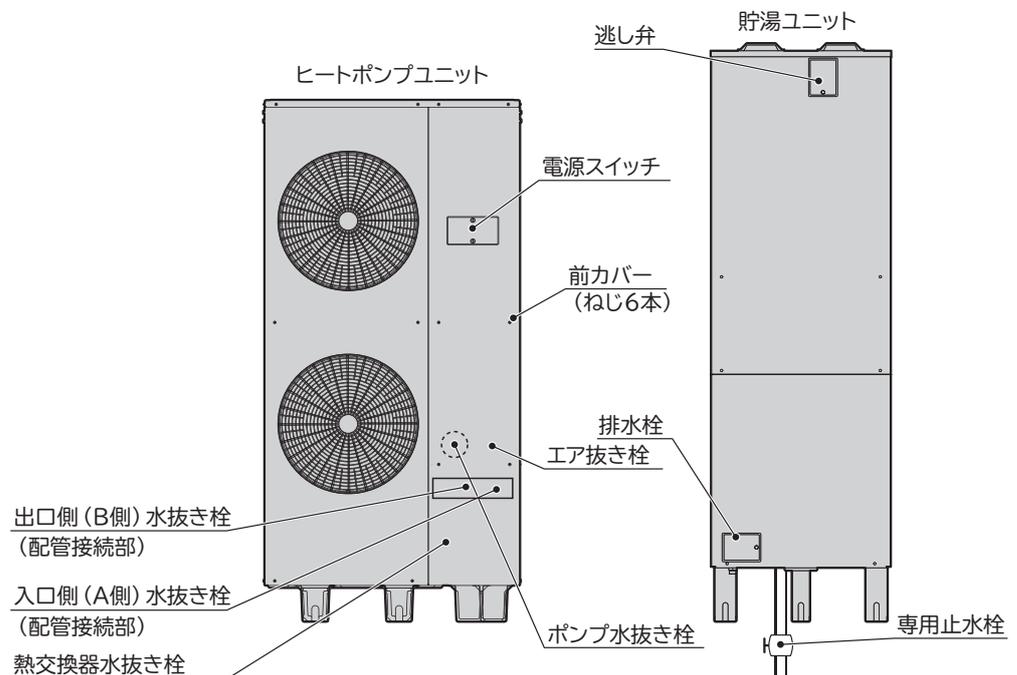
- 貯湯ユニットの排水の前に必ず混合水栓を開き、ぬるい水が出てくるまでお待ちください。
- 貯湯ユニット排水時に熱湯が排水されることを防止するため、貯湯ユニット内の高温水を水にしてから排水してください。

## 排水のしかた

- 1 ヒートポンプユニットの右側の前カバーを取り外して電源スイッチを「切」にします。
- 2 給湯機用の専用止水栓を閉じます。
- 3 貯湯ユニットの逃し弁のレバーを上げてください。タンクに空気を入れ、排水できるようにします。(☞ 42ページ)
- 4 貯湯ユニットの排水栓を開き、タンク内の水を抜きます。排水溝から水があふれないようバルブを調整してください。(熱い湯が出る場合がありますのでご注意ください。)(☞ 42ページ)
- 5 排水が終わったら、貯湯ユニットの排水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げて排水栓と逃し弁のカバーを閉じてください。
- 6 ヒートポンプユニットのエア抜き栓(入水金具右上)を開いてから水抜き栓(3カ所)とポンプの水抜き栓を開き、水を抜きます。(熱い湯が出る場合がありますので、ご注意ください。)
- 7 ポンプの水抜き栓と配管接続部の水抜き栓(2カ所)を閉じてください。ヒートポンプユニットのエア抜き栓と熱交換器水抜き栓は開いたままとし、前カバーを取り付けます。

## お願い

- 水抜き終了後に貯湯ユニットの逃し弁のレバーが下がっていること、排水栓が閉じていることを確認してください。また、ヒートポンプユニットの水抜き栓4カ所(ポンプと各配管接続部)が閉じていることを確認してください。
- 再び給水するときは、「給水のしかた」の手順を行ってください。(☞ 40ページ)



## ◆メンテナンス時又は長期間運転を停止するとき(つづき)

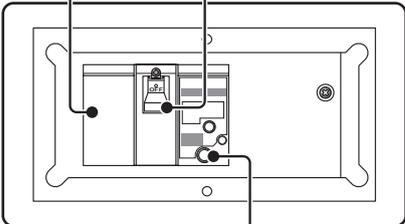
### 給水のしかた

- 1 シンクなどのすべての湯水混合栓が閉じていることを確認してください。
- 2 ヒートポンプユニットの熱交換器水抜き栓(最下部)を閉じてください。その他のヒートポンプユニットの水抜き栓と貯湯ユニットの排水栓が閉じていることを確認し、逃し弁のレバーを上げてください。  
貯湯ユニットが複数の場合は、貯湯ユニット1(給湯側)の逃がし弁を開けば、すべての貯湯ユニットに給水可能です。
- 3 専用止水弁を開いてタンクに水を入れます。ヒートポンプ配管に止水栓を取り付けている場合は、止水栓を開いてください。タンクが満水になると、排水管から水が出ます。  
(タンク1本の満水までの所要時間は )  
30~50分です。
- 4 満水になったら逃し弁のレバーを下げてください。
- 5 ヒートポンプユニットのエア抜き栓から水がでてきたら、エア抜き栓を閉じます。  
(入水金具右上)

## ◆電源ブレーカーを入れたときと停電後

- 時刻が設定されていない場合は、リモコンのアラームが鳴ります。リモコンのアラーム停止ボタンを押してアラームを止めてから、現在時刻を確認してください。  
(☞ 14ページ)

# 各部の点検とお手入れ

No.	項目	時期	点検・お手入れ
1	<p><b>警告</b></p> <p><b>強制</b></p> <p>漏電遮断器の確認</p>	1カ月に1回	<p>①通電中にヒートポンプユニットの操作カバーを固定しているネジ2本を取り外し、操作カバーを開けてください。</p> <p>②漏電遮断器のテストボタンを押して、電源スイッチが「切 (OFF)」になることを確かめてください。</p> <p>※万一、電源スイッチが「切 (OFF)」にならない場合は、直ちに本製品の使用を中止し、販売店または据付工事店に必ずご相談ください。</p> <p>③動作確認後、必ず電源スイッチを「入 (ON)」に戻してください。</p> <p>④操作カバーをネジ2本で確実に閉じてください。閉じ方が不完全ですと雨水が浸入して感電や機器が故障する恐れがあります。</p> <p>⑤時刻の確認を行ってください。 (☞ 14ページ)</p> <div style="text-align: right;"> <p><b>漏電遮断器</b></p> <p>万が一、漏電が発生したときに電源を切り、感電を防止します。</p> <p><b>電源スイッチ</b></p>  <p><b>テストボタン</b></p> <p>月に1回、ボタンを押して漏電遮断器の動作を確認するものです。</p> </div>
2	HPユニットのそうじ		降灰地域等に設置の場合は、定期的にヒートポンプユニットの背面と左側面の熱交換器と熱交換器下部のツユサラ部分を水で洗い流してください。 また、ドレン水が確実に排水されることを確認してください。
3	逃し弁の確認		「逃し弁の確認方法」の手順を行ってください。(☞ 42ページ)
4	貯湯ユニットのそうじ		「貯湯ユニットのそうじ方法」の手順を行ってください。(☞ 42ページ)
5	据付台の確認	半年～1年	据付台が極端に錆びている、あるいは機器が傾いたりしていないかを確認してください。
6	水漏れの確認	1カ月に2回	給湯システム周り、配管からの水漏れがないことを確認してください。 また、排水口から水が出ていないことを確認してください。
7	HPユニット貯湯ユニット表面のお手入れ	汚れたとき	①乾いた布または、布に台所用中性洗剤を薄めて含ませ軽く絞ってふいてください。 ②シンナーなどの溶剤は、塗装面をいためますので使用しないでください。
8	リモコンのお手入れ	汚れたとき	①乾いた布または、水に濡らした布を固く絞ってふき取ってください。 ②ベンジン・シンナーなどの溶剤の使用は、リモコンの変形や変色の原因になりますので、使用しないでください。 ③お湯 (水) をかけて、汚れを洗い流すことはしないでください。

上手な使い方

# ◆各部の点検とお手入れ(つづき)

## ■ 逃し弁の確認方法

逃し弁は沸き上げ時、膨張水を排出し、貯湯ユニットのタンク内が高圧になるのを防ぎます。

- 1 貯湯ユニット前面の上側の操作カバーを開けて、逃し弁のレバーを上げます。
- 2 貯湯ユニットの排水管から、お湯(水)がでれば正常です。
- 3 逃し弁のレバーを下げて、排水が止まることを確認してください。操作カバーを閉じてねじを締めてください。

逃し弁は高い位置にありますので、踏み台などを使用して点検してください。  
点検時は転倒しないように注意してください。



### 警告

逃し弁点検時は、配管に手を触れない

手を触れるとやけどをすることがあります。

## ■ 貯湯ユニットのそうじ方法

使用中、貯湯ユニット内部のタンク底部に湯あかなどの沈でん物がたまります。

タンクの湯を排水することにより、タンク内の沈でん物を排出します。

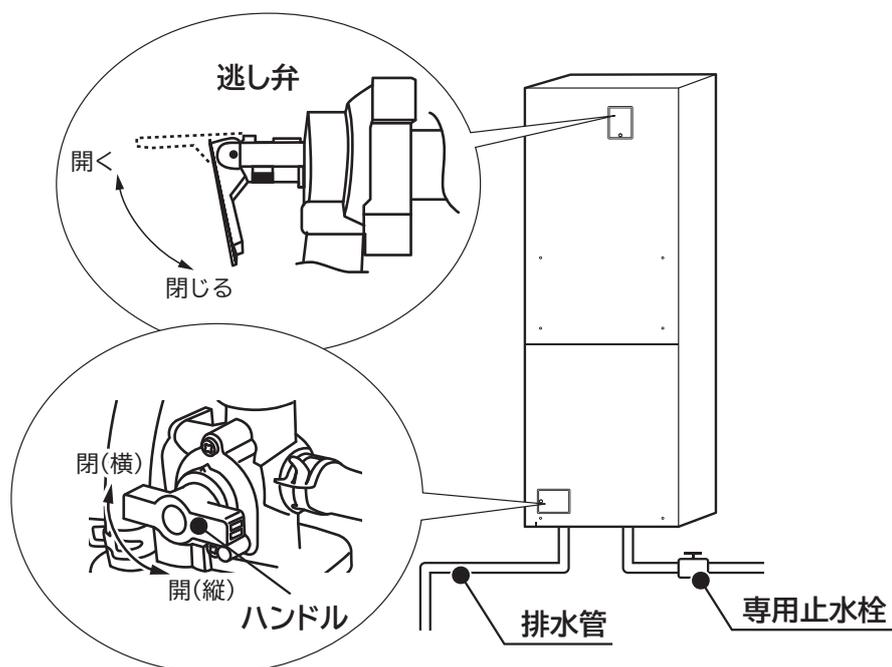
- 1 専用止水栓を閉め、上側の操作カバーを開けて逃し弁のレバーを上げます。
- 2 下側の操作カバーを開け、排水栓を開けて約2分間排水してください。
- 3 排水栓を閉じ、専用止水栓を開けます。
- 4 排水管から湯(逃し弁からの湯)が出てきたら、逃し弁のレバーを下げます。
- 5 上・下両方の操作カバーを閉じて、ねじを締めてください。



### 警告

タンクの排水時は、お湯に手を触れない

やけどをすることがあります。



逃し弁の点検・タンクの掃除

# ◆故障かな？

## こんな時は故障ではありません

症 状	原 因
リモコンのアラームが鳴っている。 (停電後、湯切れのとき)	停電などで給湯機の電源が遮断された後、電源が入ると時刻設定されていない場合アラームが鳴ります。アラームを消して時計の確認を行ってください。また、貯湯タンクの湯量が残り少なくなるとアラームが鳴ります。
お湯を使用していないのに、 給湯機が運転している。	貯湯ユニット内のお湯を自動的に約65~90℃まで沸き上げています。貯湯ユニット内のお湯の沸き上げが完了すると自動的に運転を停止します。
運転中、ヒートポンプユニット の熱交換器が霜で白くなる。	冬期運転中は熱交換器（アルミフィン）に霜がつくことがあります。ついた霜は自動で霜取り運転を行い、取り除きます。
排水口からお湯が出ている。	沸き上げ運転時は、貯湯ユニットのタンク内の水の温度が上昇し膨張します。この膨張分が逃し弁から排水されます。正常な動作ですので排水栓のハンドルを閉めすぎないでください。
給湯中、ヒートポンプユニット のドレン口から水が出る。	ヒートポンプが大气から熱を吸収する時に、結露した水が出てきます。
お湯が白く濁って見える。	水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けた時に細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。
お湯から油が出る、お湯が臭い。	初めて使用する時は、配管工事の油やにおいがお湯に混ざって出る場合があります。しばらく使用すると消えます。

## リモコンにお知らせ表示が表示された場合の処置

- 給湯機に異常が発生すると、「ピーピーピー」とアラームが鳴ります。
- 画面に、お知らせ表示コードを表示します。
- 複数台に異常が発生した場合は、交互にお知らせ表示コードを表示します。

### 異常発生(エラーコード表示)時の処置方法…

- お知らせ表示コードと給湯機の番号を控えてください。
- 外来ノイズ等による誤動作も考えられますので、一度電源スイッチまたはブレーカーを切った後、再度電源を投入してください。エラーコードが消えて給湯機はリセットされます。なお、電源投入後は必ず時計設定を行ってください。
- 上記操作後、同様のお知らせ表示が表示される場合は、据付工事店（販売店）または「お客様ご相談窓口」の連絡先までご連絡ください。

お知らせ表示が出た場合は据付工事店（販売店）またはお客様ご相談窓口  
に早めにご連絡ください。



給湯機番号とお知らせ表示コード

# ◆故障かな？(つづき)

## こんな時は調べてみましょう

症 状	原 因	処 置
リモコンの表示部 が点灯しない。 (電源が入らない)	電源のブレーカーが 「切(OFF)」になっている。	「切(OFF)」になっている場合は、「入(ON)」に してください。
	リモコン接続機の給湯機の電源 スイッチが「切(OFF)」になっ ている。	「切(OFF)」になっている場合は、「入(ON)」にし てください。「入(ON)」にしてもすぐ「切(OFF)」に なる場合は、電源ブレーカーを「切(OFF)」にして、 至急据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	停電している。	停電が復帰するまで待ってください。 停電復帰後はリモコンの時計設定を行ってください。
お湯が全く出ない。 お湯の出が悪い。	専用止水栓(給水配管)が 閉じている。	開いてください。
	断水している／給水圧が低い。	水道局へ問い合わせてください。
	配管が凍結している。	据付工事店(販売店)へご連絡ください。
お湯が足りない。 お湯が出ない。 (水が出る)	リモコンの時計設定がされてい ない。	時計が設定されていないと、使用状況に対応した沸 き上げができません。時刻を設定してください。
	リモコンで「運転休止」「ピーク カット」設定している。	休止設定を取り消してください。ピークカット設定時 間を短くするか、ピークカット設定を取り消してくださ い。
	沸き上げ温度設定が低い。	沸き上げ温度(貯湯温度)を高く設定してください。
	深夜時間帯にお湯をたくさん使 用した。	リモコンの貯湯量表示が「0%」のときは湯切れです。 沸き上げ時間設定を変更してください。
	いつもに比べてお湯をたくさん 使用した。	リモコンの貯湯量表示が「0%」のときは湯切れです。 [沸き増し]の設定を変更してください。
排水口から水が 流れ出ている。	逃し弁、減圧弁の故障です。	逃し弁の点検を行ってください。 ヒートポンプユニットが運転していないときでもお湯 が出ている場合は、減圧弁または逃し弁の故障や、給 湯側からの逆流が考えられますので、据付工事店(販 売店)へご連絡ください。

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店または工事店へご相談ください。

# 保証とアフターサービス

必ずお読みください。

## 保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのもと、大切に保存してください。

### 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

なお、保証期間中でも有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

## 補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 移転されるときは

ご移転により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご移転先での日立の取扱店を紹介させていただきます。

## ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「一般ご相談窓口」(☎46ページ)にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは(出張修理)

- 使用中に異常が生じたときは、直ちに機器の電源スイッチを「切(OFF)」にし、[または分電盤のブレーカーを「切(OFF)」にして]、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ご連絡していただきたい内容  
アフターサービスをお申し付けいただくときは、下のことをお知らせください。

品名	日立業務用エコキュート
形式	RHK-15AJK
お買い上げ日	年 月 日
故障状況	できるだけ具体的に (リモコンに点検表示(エラーコード)が表示されている時は表示内容もお知らせください。)
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	( ) -
訪問希望日	

※形式は保証書にも記載されています。

- 保証期間中は  
修理に際しましては保証書(別添)をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは  
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
- 修理料金のしくみ  
修理料金 = 技術料 + 部品代 + 出張料  
などで構成されています。

### 技術料

診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。

### 部品代

修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

### 出張料

商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。  
別途、駐車料金をいただく場合があります。

# 定期点検

- 給湯システムは年月の経過により構成部品が劣化します。ご使用条件や運転状況により給湯機の性能に影響をおよぼし、機能を十分に発揮できなくなることがありますので、1年に1回の定期点検をおすすめします。(点検費用など詳しいことは販売店にご相談ください。)

## 定期点検の主な内容

据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認。
機能部品	電気部品(配線・導通・動作の確認) 弁類(減圧弁・逃し弁)などの点検および消耗部品の交換。

# ◆ 定期点検(つづき)

## 機器予防保全の目安

ご使用条件：(1) 頻繁な発停の無い、通常のご使用状態であること。

(2) 製品稼働時間は4400時間/年と仮定します。

運転状況によっては点検周期および保全周期が異なります。例えば、下記の項目に適合するときには、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

- 温度、湿度の高い場所または、その変化の激しい場所でご使用される場合。
- 電源(電圧、周波数、波形歪みなど)や負荷変動が大きい場所でご使用される場合。
- 振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。

部 位	部 品	交換の目安
冷媒回路	圧縮機	35,000時間
	電動膨張弁	10年
水回路	循環ポンプ	20,000時間
	凍結防止用切換弁	5年
	流量センサー	5年
	減圧弁	5年
	逃がし弁	5年
送風機	ファンモータ	20,000時間
電気回路	インバータ	8年
	パワーモジュール	8年

注：本表は主要部品を示します。

表中の保全周期は保証期間を示すものではありません。

この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全計画(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。

- 故障の発生は、定期点検実施の場合でも、予期できない突発的偶発故障が発生する場合があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償になります。

# ◆ お客様ご相談窓口

## 日立製品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-649-020  
FAX 0120-649-021

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-19  
FAX 0120-3121-34

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

# 仕 様

		ヒートポンプユニット	貯湯ユニット
形 式		RHK-15AJK	RHK-T56AK
種 類 ( 設 置 場 所 )		屋外式 (外気温-20℃~43℃) [但し、貯湯ユニットは屋内でも可]	
電 源		三相200V	—
周 波 数		50/60Hz	—
最 大 電 流		25A	—
外形寸法 (高さ×幅×奥行)		1,850mm×900mm×450mm	2,182mm×685mm×790mm
質 量	製 品	185kg	78kg
	満 水 時	—	638kg
中 間 期	標準加熱能力/消費電力(※)	15.0kW / 3.49kW	—
	高温加熱能力/消費電力(※)	13.0kW / 4.06kW	—
夏 期	標準加熱能力/消費電力(※)	15.0kW / 3.26kW	—
	高温加熱能力/消費電力(※)	13.0kW / 3.82kW	—
冬 期	標準加熱能力/消費電力(※)	15.0kW / 3.95kW	—
	高温加熱能力/消費電力(※)	13.0kW / 4.20kW	—
着 霜 期	標準加熱能力/消費電力(※)	14.0kW / 4.74kW	—
	高温加熱能力/消費電力(※)	13.0kW / 5.00kW	—
中 間 期 電 流		10.6A	—
運 転 音	中間期/冬期高温(※)	51 / 54dB	—
使用冷媒 (封入量)		R744(1.25kg×2系統)	—
設 計 圧 力		13.2MPa	—
タ ン ク 容 量		—	560L
配管口径	給 水 ・ 給 湯 管	—	R1
	ヒートポンプユニット接続管	R3/4	R3/4
	排 水 管	—	R3/4
沸 き 上 げ 温 度		65~90℃	—
水 側 最 高 使 用 圧 力		190kPa (減圧弁170kPa)	
リ モ コ ン		別売 (RHKR-AG1)	—

※加熱能力、消費電力の測定条件は下の条件表を参照ください。

## 条 件 表

(単位:℃)

		利 用 側		熱 源 側	
		冷 温 水		空 気 温 度	
		入 水 温 度	出 湯 温 度	乾 球 温 度	湿 球 温 度
中 間 期 条 件	標 準	17	65	16	12
	高 温		90		
夏 期 条 件	標 準	24	65	25	21
	高 温		90		
冬 期 条 件	標 準	9	65	7	6
	高 温		90		
着 霜 期 条 件	標 準	5	65	2	1
	高 温		90		

## 愛情点検



### 長年ご使用の貯湯式給湯システムの点検を！

#### こんな症状はありませんか？

- 運転中以外に逃し弁から水が漏れる。
- 機器や配管から水が漏れる。
- 漏電遮断器が自動的に「切 (OFF)」になる。
- その他の異常や故障がある。

#### ご使用中止

故障や事故防止のため、電源ブレーカーを切り、給湯機専用止水栓を閉じてから、販売店に点検をご相談ください。

#### 〈保守点検契約のおすすめ〉

- 給湯システムは常にその性能を十分に発揮させるために、正しい使い方と同時に定期的な保守点検が必要です。故障が起きてからの修理では、大変な経費と時間が必要になります。そこで、当社は保守点検契約をおすすめします。
- 保守点検契約についての詳細は、販売店または工事店にご相談ください。

## お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。



お買い上げ日	年 月 日	形式	RHK-15AJK
購入店名	電話 ( )		

 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12